

お客様本位の業務運営に関する
「取組方針」「アクションプラン」
に基づく取組状況
(2025年度)

2026年6月

北海道労働金庫

北海道ろうきん(以下当金庫)は、「ろうきんの理念」のもと、お客様の立場に立ち、お客様の生活を生涯にわたってサポートすることを目指し、お客様本位の業務運営に関する「取組方針」および具体的な行動計画である「アクションプラン」を策定・公表しています。

また「取組方針」・「アクションプラン」に基づく取組状況や成果(KPI)を定期的に公表するとともに、より良い業務運営の実現に向けて、適宜見直しを図っています。

2025年度の取組状況や成果(KPI)をご報告いたします。

項目	ページ数
取組方針1「お客様の生活を生涯にわたってサポートしていくことを第一に考えた取組み」の取組方針とアクションプラン	P3
取組方針1「お客様の生活を生涯にわたってサポートしていくことを第一に考えた取組み」の取組状況と実績資料	P4～P7
取組方針2「お客様の立場に立ったわかりやすい情報提供の取組み」の取組方針とアクションプラン	P8
取組方針2「お客様の立場に立ったわかりやすい情報提供の取組み」の取組状況	P9
取組方針3「お客様一人ひとりに合った最適なサービス提供の取組み」の取組方針とアクションプラン	P10～P11
取組方針3「お客様一人ひとりに合った最適なサービス提供の取組み」の取組状況	P12～P13
取組方針4「お客様本位の業務運営」の職員への定着と実践に向けた取組み」の取組方針とアクションプラン	P14
取組方針4「お客様本位の業務運営」の職員への定着と実践に向けた取組み」の取組状況と実績資料	P15～P16
投資信託販売会社における比較可能なKPI	P17～P21

※ 金融庁:原則2「顧客の最善の利益の追求」原則3「利益相反の適切な管理」に対応

【取組方針】

当金庫は、「ろうきんの理念」のもと法令やルールを厳格に遵守し、お客様が最善の利益を得られるよう、また、お客様の利益が不当に害されることのないよう、質の高い金融サービスを提供する取組みを行います。

【アクションプラン】

- お客様が最善の利益を得られるよう、お客様一人ひとりのライフプラン・ニーズを踏まえた最適なアドバイスと、良質な商品・サービスを提供します。
- お客様の資産形成に関するコンサルティングにあたっては、長期積立・分散投資を基本に提案します。
- 「利益相反管理方針」に基づき、利益相反について統括する部署を設置し、一元的に対応する体制を整備するなど、お客様の保護と正当な利益確保に努めるための適切な管理を行います。
- 投資信託商品の選定にあたっては、業態の中央機関である労金連合会において販売する商品の基本的な利益(リターン)、損失その他のリスク、取引条件、選定理由、手数料水準等が適切なものであることを確認したうえで、お客様の最善利益の追求の観点で選定します。

【取組状況】

- 「ろうきんの理念」のもと法令やルールを厳格に順守し、お客様が安心してお取引を継続して頂けるよう、誠実・丁寧かつ公正な業務運営を行いました。
- お客様の資産形成支援の取組みにあたり、財形貯蓄などの各種積立預金や定期預金による資産形成を基本に、お客様のニーズとリスク許容度に応じて、投資信託・国債・個人型DC(iDeCo)・生命保険などのご提案を行いました。
- コンサルティングプラザでは、札幌市内各店と連携のうえ、札幌圏におけるお客様に対してライフプランニングの相談・提案を行いました。
- お客様の安定的な資産形成を目的に、現役層には財形貯蓄などの各種積立預金・投資信託(NISA・定時定額買付含む)・個人型DC(iDeCo)を活用した長期積立・分散投資を基本に提案しました。また、高齢者層には定期預金による資産形成を基本に、ニーズとリスク許容度に応じた分散投資を提案しました。
- 商品別販売額については、最も割合の高い商品で2025年度は14.29%となり、(2024年度は14.39%、2023年度は21.67%)偏った商品販売になっていないことを確認しました。
- 全営業店を対象とした利益相反取引管理に関する点検の取組み(2026年3月末基準)において、利益相反に該当する取引は無かったことを確認しました。
- 当金庫が取扱う投資信託商品は、業態の中央機関である労金連合会において利益相反の管理も含め審議・選定されたものの中から、当金庫が適切性を審査した上で選定しました。

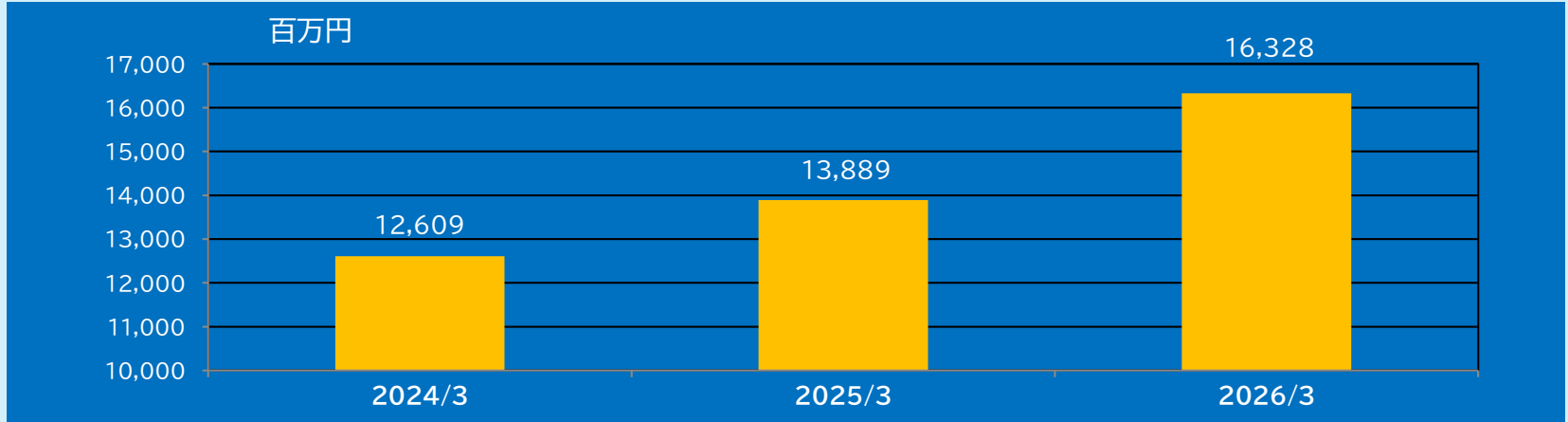
【投資信託ラインナップの状況(2026年3月末)】

種別および対象地域		商品数	構成比	うち店頭取扱商品数	うちインターネット専用商品数
債券	国内債券	2	2.66%	1	1
	海外債券	11	14.66%	8	3
株式	国内株式	7	9.33%	4	3
	海外株式	16	21.33%	9	7
REIT	国内REIT	3	4.00%	2	1
	海外REIT	5	6.66%	3	2
バランス型	国内	1	1.33%	1	0
	海外	22	29.33%	16	6
ESG関連		8	10.66%	8	0
合計		75	100.00%	52	23

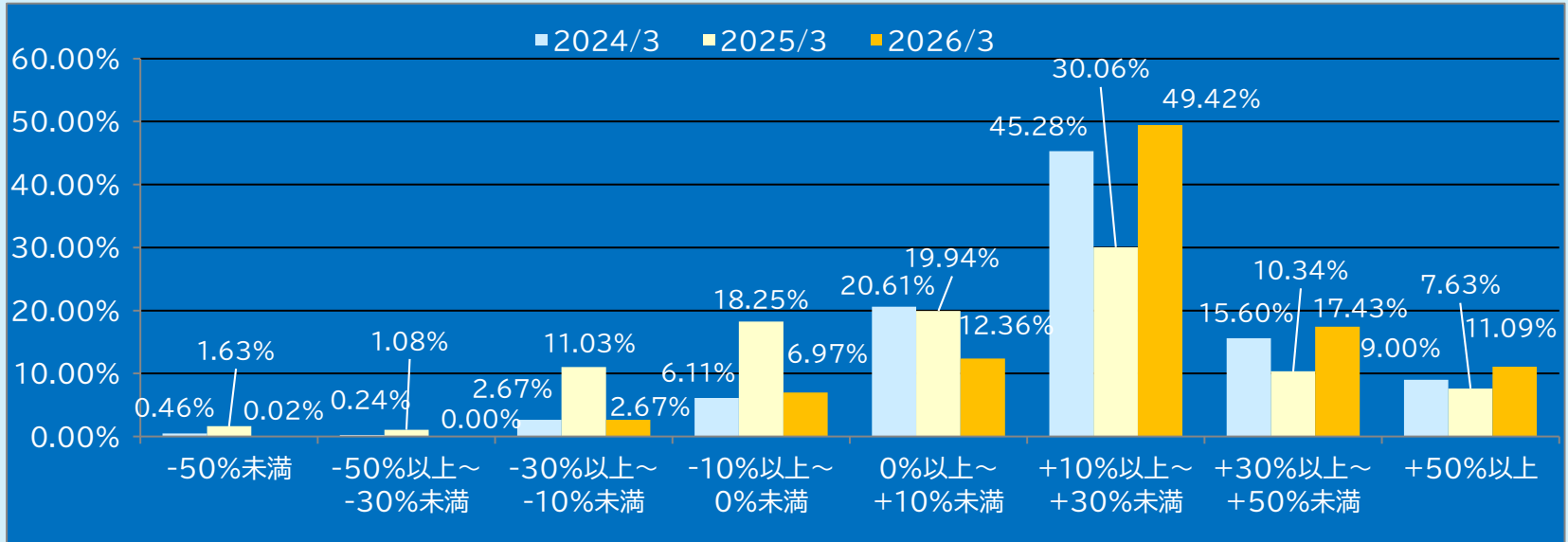
【投資信託販売額上位10商品と構成比(2026年3月末)】

順位	商品	販売会社	割合
1	たわらノーロード 先進国株式アセット	アセットマネジメントOne	14.29%
2	たわらノーロード 日経225	アセットマネジメントOne	13.23%
3	たわらノーロード S&P500	アセットマネジメントOne	13.07%
4	たわらノーロード 全世界株式	アセットマネジメントOne	11.49%
5	インデックスファンドNASDAQ100	アモーヴァアセットマネジメント	7.98%
6	のむラップファンド(積極型)	野村アセットマネジメント	6.56%
7	のむラップファンド(普通型)	野村アセットマネジメント	4.53%
8	iFree TOPIXインデックス	大和アセットマネジメント	3.48%
9	つみたて8資産均等バランス	三菱UFJアセットマネジメント	2.56%
10	iFree 新興国株式インデックス	大和アセットマネジメント	2.46%

【投資信託残高推移(2026年3月末)※個人型DC除く】

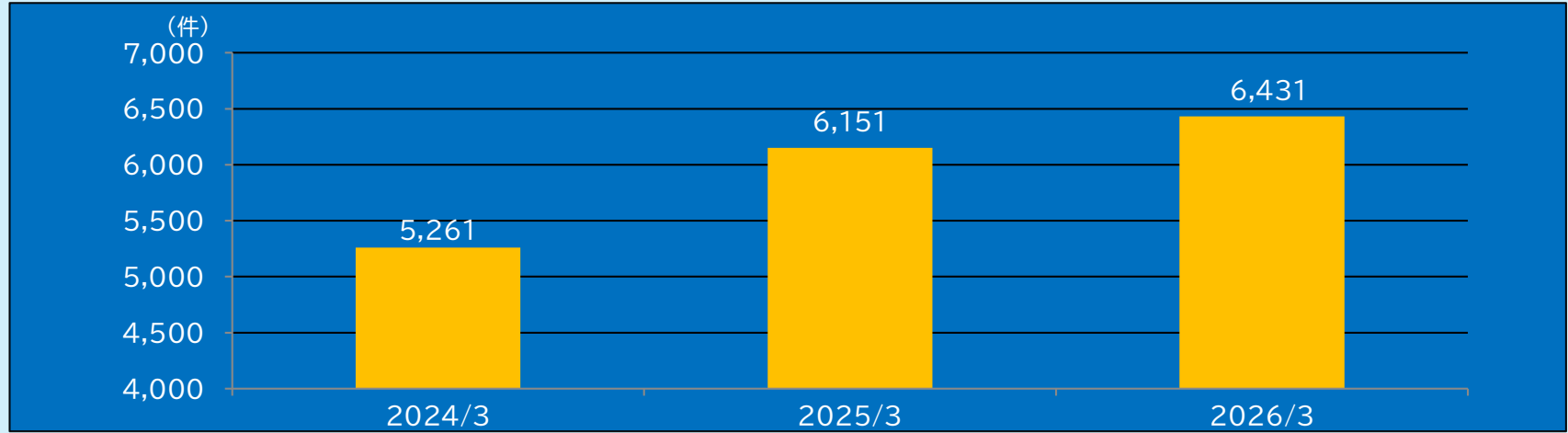


【投資信託運用損益別顧客比率】

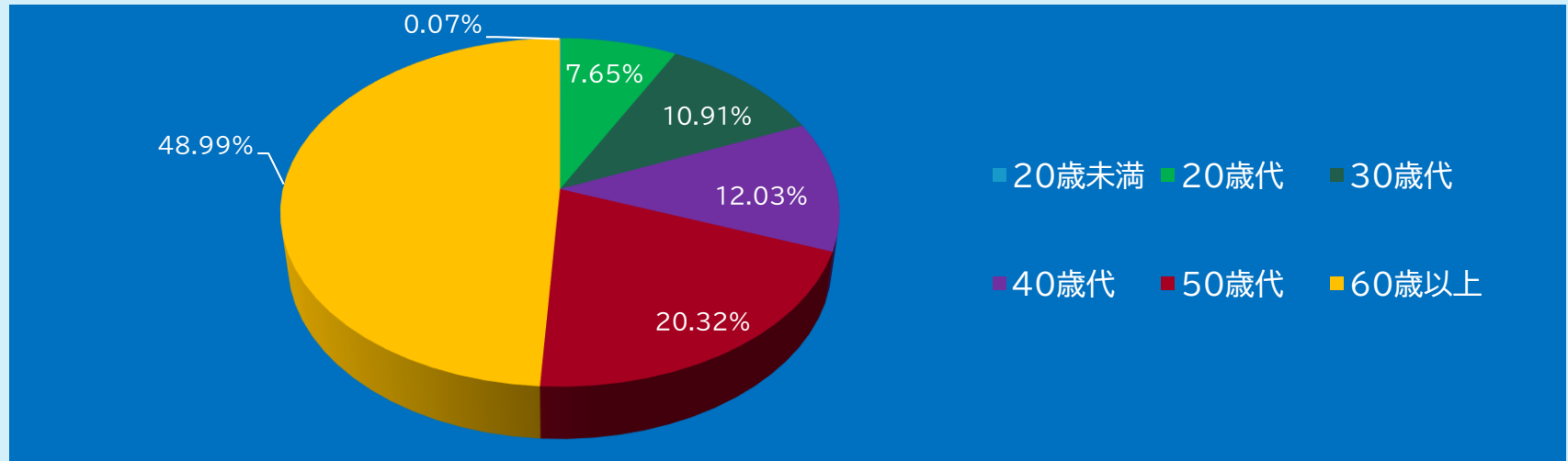


【評価益が出ているお客様の割合 「2024/3 90.49%」「2025/3 67.97%」「2026/3 90.30%」

【NISA利用者数推移・年齢階層別利用者比率(2026年3月末)



【NISA年齢階層別利用者比率(2026年3月末)



※ 金融庁:原則4「手数料等の明確化」原則5「重要な情報のわかりやすい提供」に対応

【取組方針】

当金庫は、販売・推奨等を行う金融商品・サービス、お客様にご負担いただく手数料等について、わかりやすく丁寧な情報提供を行います。

【アクションプラン】

- お客様にご負担いただく手数料等について、パンフレット・ホームページなどに商品・サービスごとに表示し、わかりやすく丁寧な説明を行います。
- 金融商品について、お客様のニーズやご意向を的確に把握するとともに、複数のファンド等を提案するなど、お客様が適切に比較・判断することが可能となるよう説明を行います。
- 販売・推奨等を行う金融商品サービスについて、重要な情報が理解できるよう記載した「重要情報シート」等の資料を用いて、その複雑さやリスクに見合った、わかりやすく丁寧な情報提供を行います。
- 確定拠出年金(DC)について、企業型DC加入者向けの「ろうきんの勤労者の資産形成に係る役割発揮宣言」サイトや、個人型DCについての「ろうきんiDeCo」スペシャルサイトにおいて、投資の考え方や商品の選択、金融商品のリスクとリターンについてなど詳しく説明します。
- 当金庫が取り扱う投資信託において、パッケージ商品に該当するファンドオブファンズ(注)形式の商品があります。当商品については個別のファンドごとの購入には対応しておりません。ホームページ等のファンド情報、フリーダイヤル、店頭窓口等で当該商品のメリット、リスク、手数料等についてご案内しています。

(注)ファンドオブファンズとは、「投資信託に投資する投資信託」で、複数の投資信託(ファンド)を適切に組み合わせて、一つの投資信託(ファンド)にまとめたものをいいます。

【取組状況】

- 投資信託については、「投資信託説明書(交付目論見書)」、「目論見書補完書面」、「重要情報シート」および「投資信託販売手数料等計算シート」等を活用し、お客さまにご負担いただく各種手数料についてご説明を行いました。また、当金庫のホームページにファンド一覧表を掲載し、商品間の比較を容易にする等わかりやすい開示を行いました。
- 投資信託以外の手数料等については、「商品概要書」および「手数料一覧表」等を活用し、わかりやすく丁寧な説明を行いました。
- お客様より「ご相談シート」の提出を受けるとともにご意向の聞き取りを実施し、投資経験・投資目的等の把握をしたうえでお客様が適切に商品比較・判断が可能となるよう、複数ファンドの提案等を行いました。
- 投資信託の販売に際しては各種「目論見書」および「重要情報シート」を用いてわかりやすく重要な情報を提供しました。
- ろうきん業態の「ろうきんiDeCo」スペシャルサイトにおいて、制度内容や投資に役立つ情報をわかり易く掲載しています。また、「ろうきんiDeCo」スペシャルサイト内ガイドページにて、WEB申込みの取扱も行いました。
- 当金庫が取り扱う投資信託のうちファンドオブファンズ形式の商品について、個別のファンドごとの購入には対応しておりません。なお、当金庫のホームページにはファンド情報や各種手続きに関する情報等を掲示しました。

※ 金融庁:原則6「顧客にふさわしいサービスの提供」に対応

【取組方針】

当金庫は、お客様一人ひとりの資産状況や、金融商品の取引経験、商品知識や取引目的、ニーズ等を把握のうえ、お客様に最適な商品・サービスを提供します。

【アクションプラン】

- 「金融商品に関する勧誘方針」「共済募集指針」「保険募集指針」等を定め、これらの方針に則り、また、2024年より制度拡大となったNISAの説明等を通じて、お客様への適正な金融商品の勧誘を行います。
- 「預かり資産販売システム」により、お客様のニーズやリスク許容度を踏まえた、最適な商品・サービスを提案します。また、類似の商品がある場合にはその商品との比較も含め、的確な説明・提案を行います。
- 投資信託購入者専用の金利上乘せ定期預金商品をご購入するお客様に、通常金利の定期預金金利との比較等、適切な説明を行います。
- 市場状況や運用状況等を踏まえた継続的なアフターフォローを行い、長期的な視点にも配慮した上で、資産内容の見直しなどお客様の意向に添った対応を行います。
- ご高齢のお客様には、原則として家族等の同席を求め、商品の理解度をより十分に確認しながら説明を行うとともに、事前に審査を行うなど慎重な対応を実施します。
- お客様の資産形成をサポートする取組みとして、金融商品・知識向上に役立つライフプランセミナーを開催します。

※ 金融庁:原則6「顧客にふさわしいサービスの提供」に対応

【アクションプラン】

- 商品の複雑さやリスク等の金融商品の特性等に応じて、お客様の属性や反応等(個人情報除く)を金融商品の組成に携わる金融事業者に提供し、製販全体としてお客様の最善の利益の実現のため、取扱商品の充実と品質の維持に努めます。
 - 当金庫が選定する金融商品において、金融商品の組成に携わる金融事業者におけるプロダクトガバナンスの実効性を確保するため、商品組成に関する取組みを検証し、多様化するお客様の金融ニーズに的確に応えるべく、既存商品・サービスの見直しや、商品選定を行います。
- ※ 当金庫は金融商品の組成に携わっておりません。

【取組状況】

- 投資信託商品ラインナップツールや、NISA(少額投資非課税制度)説明用チラシ等により、お客様の立場に立った情報提供を行っているほか、当金庫のホームページにお客様のリスク許容度等を踏まえ投資信託のファンド選択をサポートする「投資信託特設サイト」を掲載し、最適な商品・サービスの提案に努めました。
- 「ろうきんNISAスペシャルサイト」を公開し、NISAについての解説や関連動画、積立・受取シミュレーションなどの情報提供を行いました。
- 「預かり資産販売支援システム」を用いた、当金庫タブレットパソコンからの投資信託・国債販売の申込により、お客様の利便性向上や法令を遵守した販売フローの構築、適合性の原則に則した商品・サービスを提案しました。
- 「商品チラシ」や「商品概要書」等を活用し、他の定期預金商品との違いや金利上乘せの適用条件等について、わかりやすく丁寧な説明を行いました。
- ご購入時にアフターフォローの希望意向調査を実施し、希望されたお客様へはお客様の意向に沿ったアフターフォローを行いました。また、ご高齢のお客様には半年に1回以上のアフターフォローを継続的に行っています。また、各店のアフターフォロー実施状況を本部で検証し、対応が適切であることを確認しました。
- ご高齢のお客様には、原則として家族等の同席を求め、商品の理解度をより十分に確認しながら説明を行うとともに、事前審査を行うなど慎重な対応を徹底しました。

【取組状況】

- お客様の投資・金融知識向上のお役に立つよう、当金庫会員組合員を対象にした資産運用等の学習会を、2025年度は576回開催しました(2024年度919回、2024年度は新NISA制度開始に伴う学習会を多数開催しました)。また業態でWebセミナーを配信するなど工夫した取組みを進めました。
- 金融商品の組成に携わる金融事業者への情報提供を、中央機関である労働金庫連合会において2026年3月に実施しました。
- 当金庫が選定する金融商品においては、業態の中央機関である労金連合会において定量評価と定性評価によるモニタリングを実施しています。また、多様化するお客様の金融ニーズに的確に応えるべく、既存商品・サービスの見直しや商品選定を行いました。
- 2026年3月末現在、当金庫は金融商品の組成に携わっておりません。なお、金融商品の組成に携わる金融事業者と連携のうえ、お客様のニーズを踏まえた商品の選定や見直しにより、取扱商品や提供するサービスの維持・向上に努めました。

※ 金融庁:原則7「従業員に対する適切な動機づけの枠組み等」に対応

【取組方針】

当金庫は、「ろうきんの理念」やお客様本位の業務運営を職員に定着させ、着実に実践していくため、各種研修を通じた人材育成や、業績評価制度の整備などに取組みます。

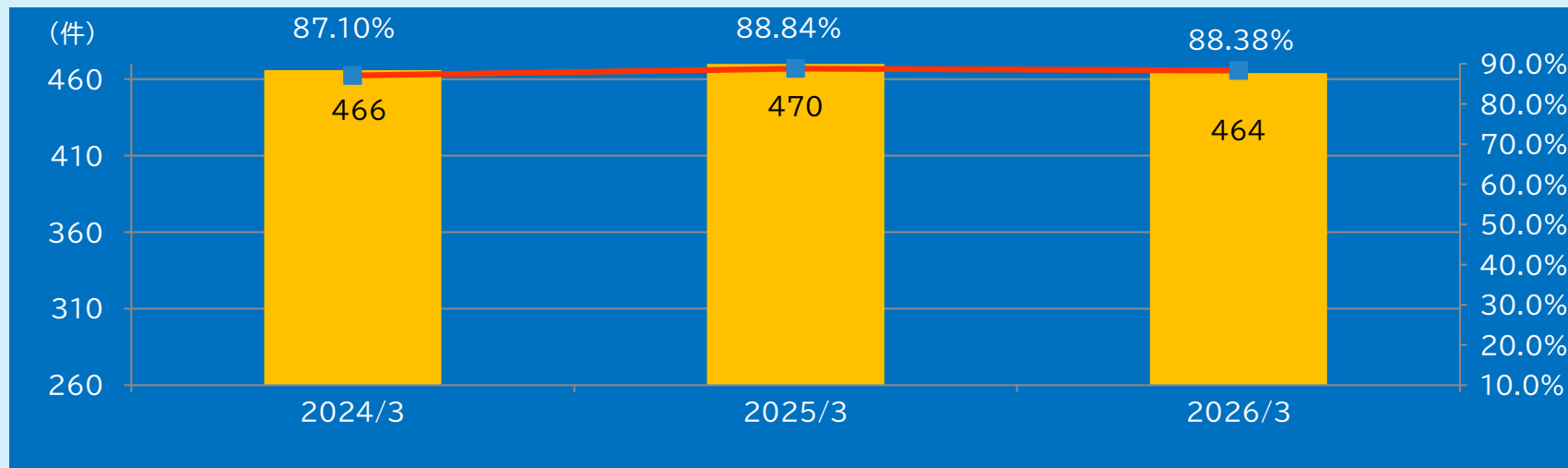
【アクションプラン】

- 「ろうきんの理念」の定着化や実践に向けた「理念研修」を実施します。また、取組方針等の内容について職員に周知するとともに業務を支援・検証するための体制を整備していきます。
- コンサルティングプラザによる提案スキル・ノウハウの共有により、マネーアドバイザーの育成や預かり資産販売担当者の資産形成コンサルティング力の向上を図ります。
- 手数料収入に偏ることなく、顧客基盤の拡大や預かり資産の継続的な積み上げを重視する業績評価制度を構築します。

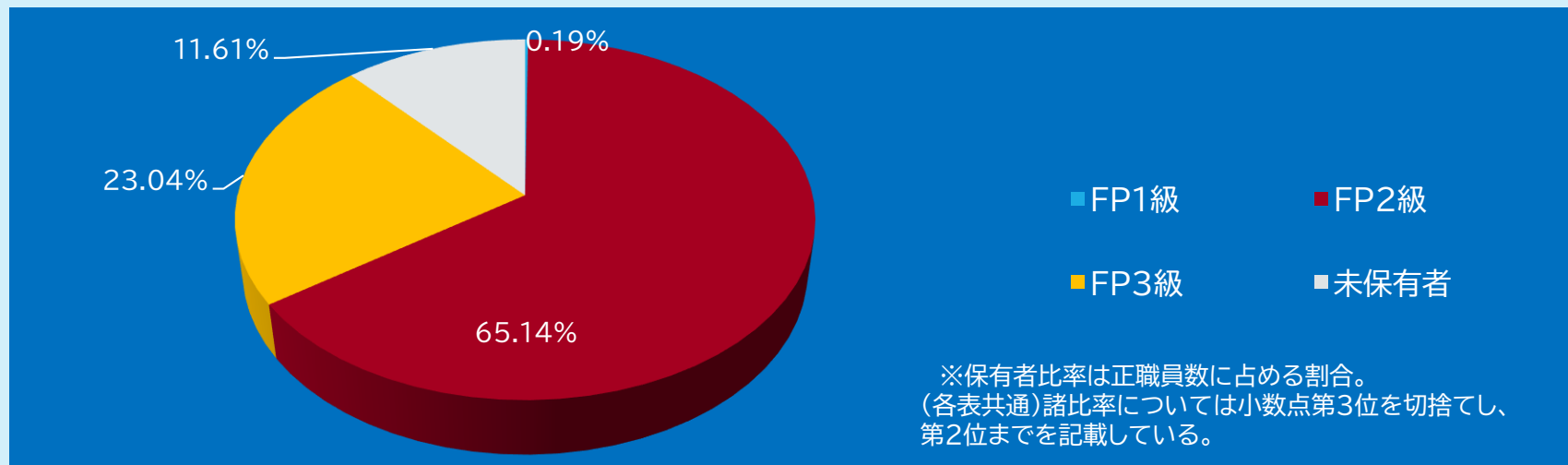
【取組状況】

- 若年層を対象とした各階層別研修において、日常業務における理念の実践を考えるなど「ろうきんの理念」に係るカリキュラムを実施し、身近なロールモデルとなり得る労金協会主催の研修参加者が講師を務めることで、コミュニケーション力の向上を図りました。
- 窓口でのお客様への対応力を向上させるための職員研修を実施しました。
- コンサルティングプラザ職員を講師とし、職場における投資信託販売の中核を担う職員を対象として「預かり資産研修」(計1回・参加者22名)を実施しました。
- お客様の安定的な資産形成を目的に、長期積立・分散投資を基本とした提案を重要視し、新規販売額ではなく、資産積み上げ額を重視する業績評価制度としています。

【ファイナンシャルプランナー(FP)資格取得者数推移(2026年3月末)

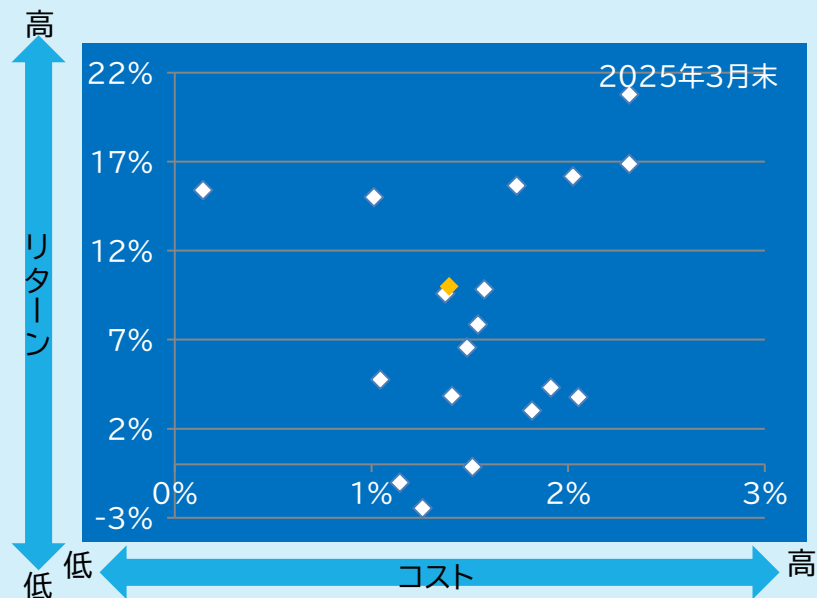
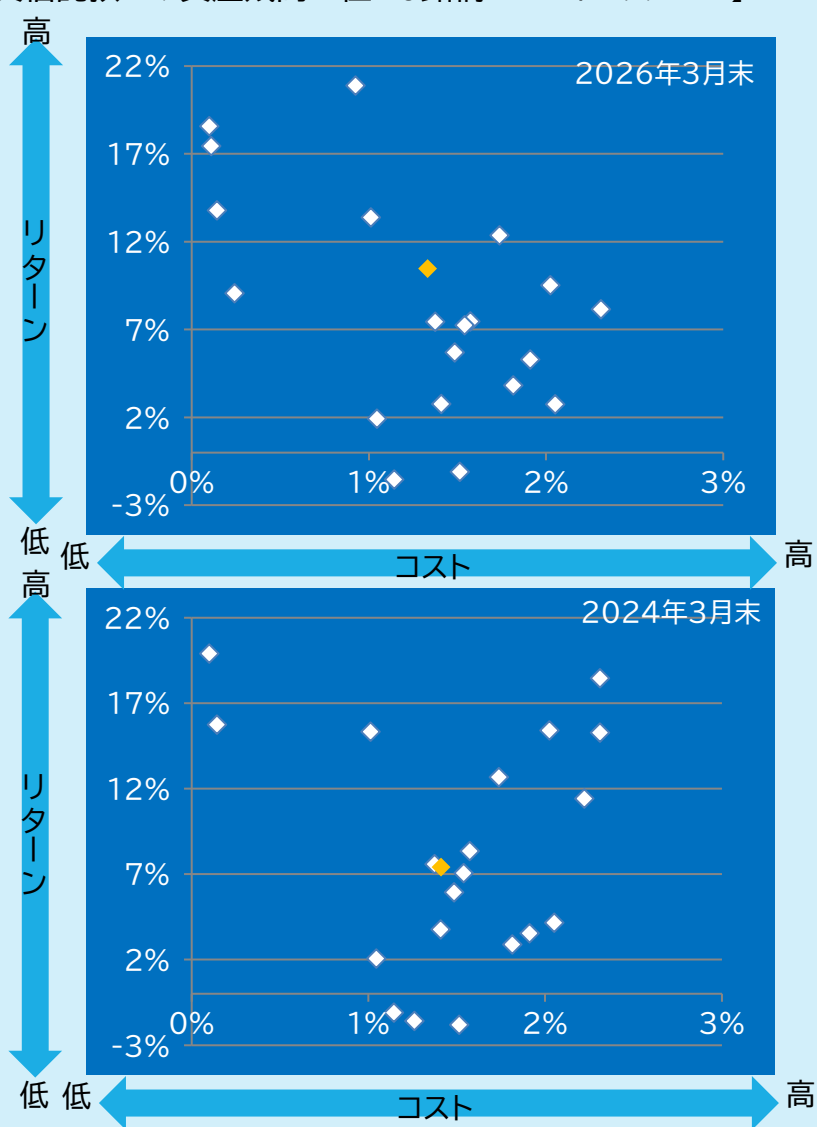


【ファイナンシャルプランナー(FP)資格取得者数推移・保有者比率(2026年3月末)



5. 投資信託販売会社における比較可能な共通KPI

【投資信託預かり資産残高上位20銘柄のコスト・リターン】

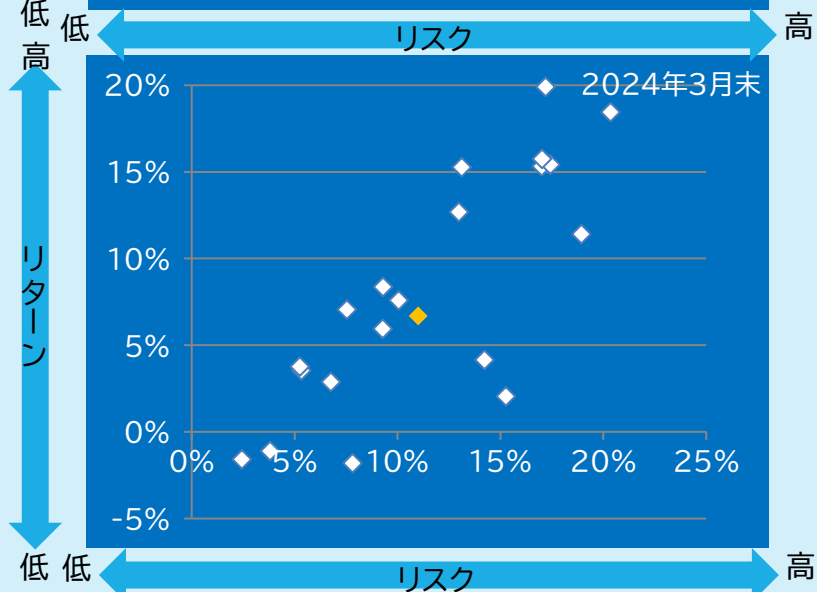
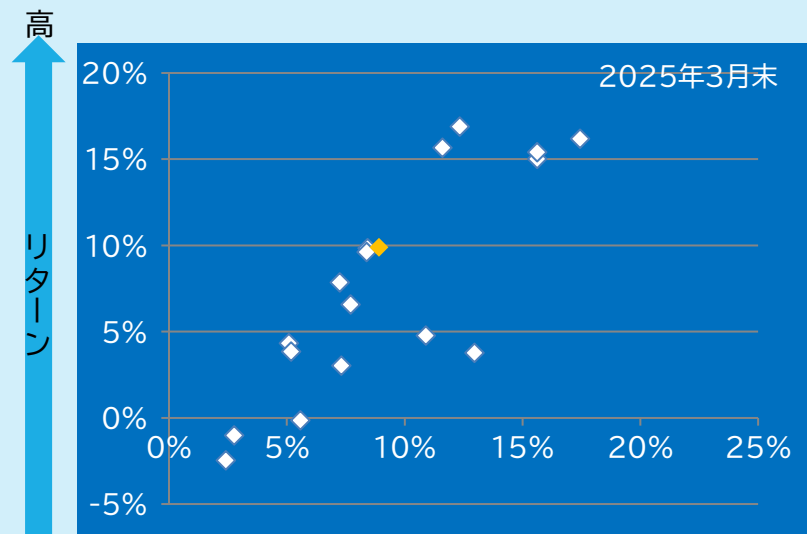
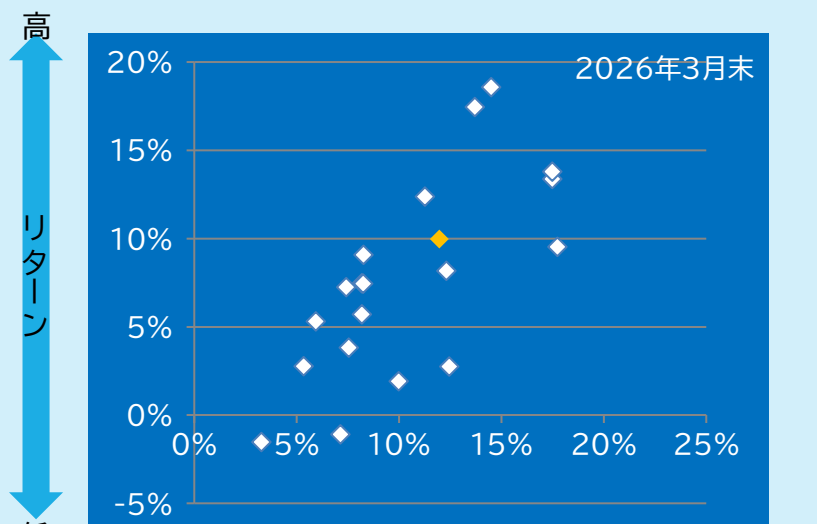


残高加重平均値	コスト	リターン
2026年3月末	1.20	10.06
2025年3月末	1.37	10.16
2024年3月末	1.46	7.36

コスト	全体	販売手数料率の1/5 + 信託報酬率
	販売手数料率	取扱い時の最低販売金額での料率
	信託報酬率	実質的な信託報酬率の上限
リターン		過去5年間のトータルリターン(年率換算)

5. 投資信託販売会社における比較可能な共通KPI

【投資信託預かり資産残高上位20銘柄のリスク・リターン】



残高加重平均値	リスク	リターン
2026年3月末	11.19	10.06
2025年3月末	9.73	10.16
2024年3月末	10.29	7.36

リスク	過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)
リターン	過去5年間のトータルリターン(年率換算)

5. 投資信託販売会社における比較可能な共通KPI

【投資信託預かり資産残高上位20銘柄のコスト・リスク・リターン(2026年3月末)】

	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.48	8.18	5.69
2	のむラップ・ファンド(普通型)	1.57	8.19	7.46
3	たわらノーロード 先進国株式	0.09	14.50	18.57
4	のむラップ・ファンド(積極型)	1.73	11.26	12.36
5	インデックスファンドNASDAQ100(アメリカ株式)	0.92	20.58	20.88
6	世界の財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.37	8.24	7.43
7	インデックスファンド225	1.01	17.48	13.37
8	ファイン・ブレンド(毎月分配型)	1.91	5.94	5.29
9	たわらノーロード 全世界株式	0.10	13.70	17.44
10	たわらノーロード 日経225	0.14	17.48	13.78
11	ダイワ外債ソブリン・オープン(毎月分配型)	1.81	7.54	3.81
12	ニッセイSDGsグローバル・セレクトファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	2.02	17.73	9.52
13	世界三資産バランスファンド(毎月分配型)	1.54	7.42	7.24
14	のむラップ・ファンド(保守型)	1.40	5.33	2.76
15	インデックスファンドJリート(東証REIT指数)毎月分配型	1.04	9.97	1.91
16	つみたて8資産均等バランス	0.24	8.26	9.07
17	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)	2.31	12.31	8.15
18	東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型)	1.14	3.28	-1.53
19	トレンド・アロケーション・オープン	1.51	7.14	-1.09
20	ニッセイ健康応援ファンド	2.05	12.45	2.74

※設定後5年以上経過している投資信託の残高上位20銘柄を対象としている。

※DC専用投信、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除く。

5. 投資信託販売会社における比較可能な共通KPI

【投資信託預かり資産残高上位20銘柄のコスト・リスク・リターン(2025年3月末)】

	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.48	7.71	6.56
2	のむラップ・ファンド(普通型)	1.57	8.42	9.82
3	たわらノーロード 先進国株式	0.09	15.27	24.29
4	ファイン・ブレンド(毎月分配型)	1.91	5.08	4.31
5	世界の財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.37	8.38	9.59
6	のむラップ・ファンド(積極型)	1.73	11.60	15.64
7	インデックスファンド225	1.01	15.62	14.99
8	ダイワ外債ソブリン・オープン(毎月分配型)	1.81	7.31	3.01
9	たわらノーロード 全世界株式	0.10	14.19	22.66
10	ニッセイSDGsグローバル・セレクトファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	2.02	17.45	16.16
11	インデックスファンドJリート(東証REIT指数)毎月分配型	1.04	10.90	4.76
12	トレンド・アロケーション・オープン	1.51	5.57	-0.14
13	世界三資産バランスファンド(毎月分配型)	1.54	7.24	7.84
14	のむラップ・ファンド(保守型)	1.40	5.18	3.84
15	たわらノーロード 日経225	0.14	15.62	15.39
16	東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型)	1.14	2.77	-1.02
17	ニッセイ健康応援ファンド	2.05	12.96	3.76
18	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)	2.31	12.33	16.86
19	日本債券ファンド	1.25	2.41	-2.46
20	グローバル・ハイクオリティ・成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	2.31	20.68	20.76

※設定後5年以上経過している投資信託の残高上位20銘柄を対象としている。

※DC専用投信、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除く。

5. 投資信託販売会社における比較可能な共通KPI

【投資信託預かり資産残高上位20銘柄のコスト・リスク・リターン(2024年3月末)】

	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.48	9.27	5.94
2	のむラップ・ファンド(普通型)	1.57	9.29	8.35
3	ファイン・ブレンド(毎月分配型)	1.91	5.33	3.55
4	世界の財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.37	10.06	7.59
5	インデックスファンド225	1.01	17.01	15.32
6	たわらノーロード 先進国株式	0.09	17.19	19.90
7	のむラップ・ファンド(積極型)	1.73	12.98	12.67
8	東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型)	1.14	3.81	-1.09
9	ダイワ外債ソブリン・オープン(毎月分配型)	1.81	6.76	2.88
10	インデックスファンド Jリート	1.04	15.27	2.05
11	ニッセイSDGsグローバル・セレクトファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	2.02	17.43	15.40
12	トレンド・アロケーション・オープン	1.51	7.82	-1.80
13	日本債券ファンド	1.25	2.43	-1.58
14	世界三資産バランスファンド(毎月分配型)	1.54	7.53	7.05
15	のむラップ・ファンド(保守型)	1.40	5.24	3.76
16	ニッセイ健康応援ファンド	2.05	14.22	4.15
17	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	2.22	18.94	11.41
18	たわらノーロード 日経225	0.14	17.02	15.74
19	グローバル・ハイクオリティ・成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	2.31	20.35	18.45
20	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)	2.31	13.11	15.27

※設定後5年以上経過している投資信託の残高上位20銘柄を対象としている。

※DC専用投信、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除く。